

# 都市・地域レベルでの低炭素社会を目指す欧州連合(EU)の政策

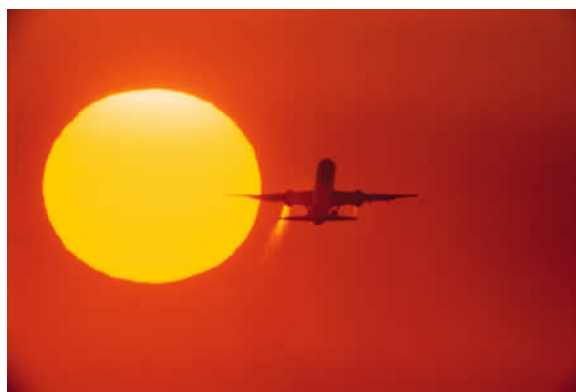


ニコラス・ヘンリー

低炭素都市推進国際会議2009

横浜 2009年10月5日

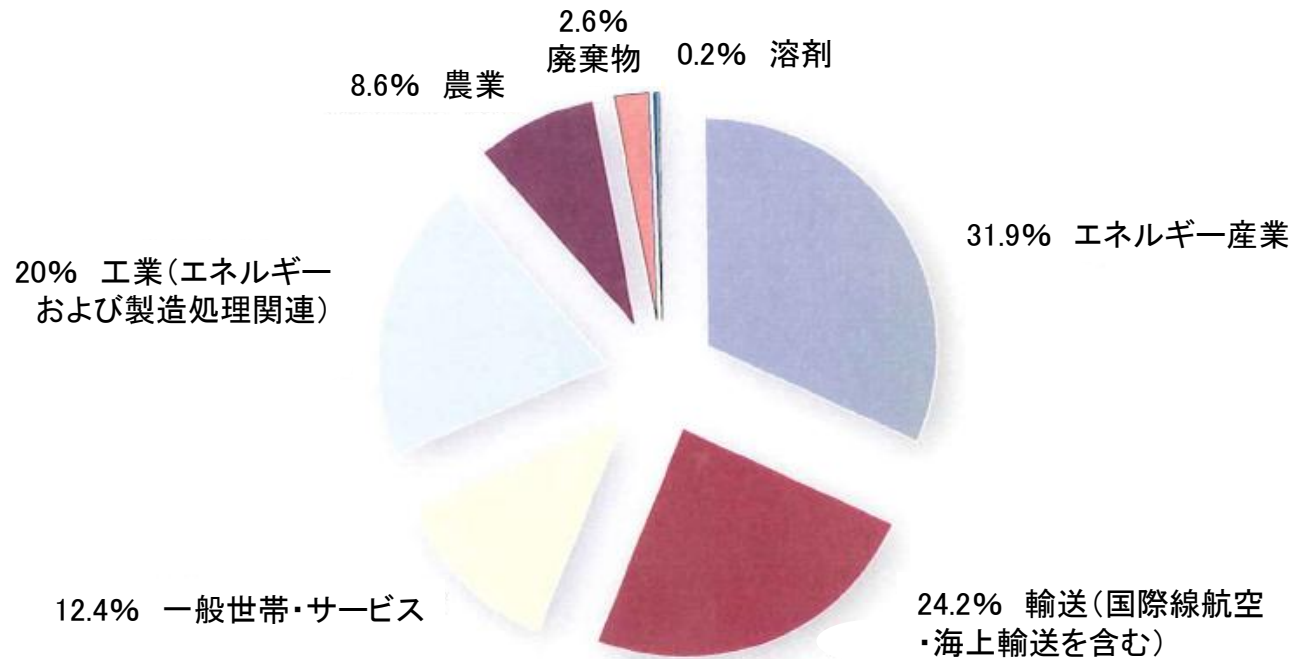
EUは全力をあげて気候変動対策に取り組んでいます。



- ・ 排出量を2012年までに8%削減(1990年比)することを定めた京都議定書の公約を遵守する。
- ・ 2020年までの二酸化炭素の排出量削減について意欲的な目標を設定し、達成に向けた広範な対策について合意をみています。

# EUの政策は、二酸化炭素排出の原因となる経済・社会の各部門ごとに取り組むこととしています。

部門別EU加盟27カ国の温室効果ガス総排出量(2007年)



私たちの政策は排出量を大きく  
次の2つに分けて考えています。



## 1. 産業とエネルギー

主要政策手段としてキャップ・アンド・トレード型の  
EU域内排出量取引制度(EU-ETS)があります。



## 2. 非ETS - 住宅、輸送、廃棄物処理等

各加盟国はこの分野について排出量削減目標を設定していますが、その達成に向けた政策や活動は国および地域・地方のレベルで行うことになっています。

EUは基本的に都会型社会であり、人口の80%は町や都市部で生活しています。

ほとんどの加盟国では市当局が二酸化炭素排出に影響を及ぼす次のような政策分野について責任を担っています。

- 住宅・都市計画
- 輸送 — 道路、公共交通
- 廃棄物管理
- 公的サービス—教育、娯楽、文化等

これらすべての分野に関する決定と投資がその都市の炭素の排出実態に影響します。

EUは次のようないくつかの活動で各都市および地域が低炭素政策を推し進めるように促しています。

- 例えばCivitas Networkなど、新たな方法の研究促進
- 投資への財政支援 — 結束基金
- 各都市の深い関与とベストプラクティスに関する情報交換の促進：
  - 環境首都
  - 市長の盟約
  - モビリティウィーク

# グリーン首都



## タイトルについて

- ヨーロッパは、今や基本的には都市の社会
- 環境問題の解決に必要なコミットメントや改革を持ち寄るのも都市
- 「欧州グリーン首都」は、環境改善のためのこれらの努力を促進し報いるための構想

## 毎年の表彰

2010年を初年とし、毎年1都市ずつが欧州グリーン首都として選ばれる。  
以下の要件に合う都市が表彰される。

- 高い環境水準を連続的に達成している実績があること
  - 環境改善や持続的発展に関し、現在進行形の野心的な目標を約束していること
  - 他の都市を奮起させるモデルとしての役割を果たすことができ、ベスト・プラクティスをヨーロッパ中の都市に広めることができること。
- \* 最初の欧州グリーン首都は、ストックホルム（2010年）とハンブルク（2011年）。

## 環境を地球レベルでも改善

この賞は、生活の質を改善しつつ地球環境全体への負荷を軽減するため、環境問題を解決するという都市の望みと可能性を示したもの。



## 市長の盟約

### 市長の盟約について

- 欧州連合(EU)の野心的な目標を具現化したのが、加盟国に2020年までにCO2を最低20%削減することを求めた、EU気候政策・再生可能エネルギー包括法案。
- 持続可能エネルギー行動計画(SEAP)の実施を通じてこの目標を超えるという公式なコミットメントをすることで、市長の盟約への署名はこれらの政策目的に貢献。

### 加盟都市・町

- 市長の盟約への署名都市・町は、SEAPを翌年に提出することを約束。
- これらの都市・町は、SEAPの進捗状況の概要についての公的な報告書を定期的に提出することを求められる。
- これまでに500以上の首長が加盟。



<http://www.mobilityweek.eu/>